

生活科学学習指導案

令和2年10月 第1学年 指導者 高津 亜弓

- 1 単元名 たのしいあきいっぱい
小単元名 こうていであきをさがそう

2 学習指導要領上の位置付け

(5) 「季節の変化と生活」

身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。

(6) 「自然や物を使った遊び」

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

3 目標

秋の自然と関わる活動を通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- ア 自然の様子や四季の変化、遊びの面白さや自然の不思議さに気付く。(知識及び技能)
イ 身近な自然の違いや特徴を見付ける。(思考力、判断力、表現力等)
ウ 身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとする。(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開 (3/3)

(1) ねらい

写真に記録した気付きを手掛かりとして、互いの気付きを交流する活動を通して、気付きを比べたり、関連付けたりしながら、夏の様子との違いなど秋の季節のよさや特徴を共有し、新たな気付きを生むことができるようにする。

(2) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	○指導上の留意点 ◎研究上の手立て
1 本時のめあてをつかむ。 ・前の時間は、校庭で秋を見つけて、タブレットで写真を撮ったな。 ・自分たちのスペシャルを早く伝えたいな。	5分	◎前時の活動の写真を大型モニタに映し出し、単元全体のめあてや、前時までに行ってきたことを想起させ、自分たちの秋のスペシャルを伝え合うことを確認させる。また、気付きを表現するための視点(みる・きく・かぐ・さわる・やってみる)を確認させ、発表の際にも意識できるように提示する。
[めあて] じぶんたちの ☆あきのスペシャル☆を つたえよう		

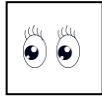
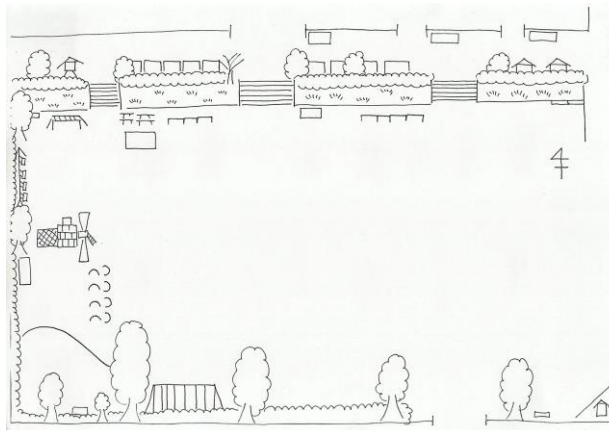
<p>2 記録した写真を基に、探した秋について見付けたものや、やってみたことなどの「秋のスペシャル」を、みんなに発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色の違うどんぐりを見付けたよ。 ・黄色や赤の落ち葉を見付けたよ。 ・落ち葉を使って貼り絵をして遊んだよ。 ・赤とんぼを5匹見付けたよ。 ・何だか分からない実が落ちていたよ。 ・センダングサで遊んだ。 ・虫の音が聞こえたよ。 ・私たちの班も同じ実を見付けたよ。 ・その種は、そんな場所にあったんだね。 	<p>25分</p>	<p>◎発表する時にタブレットで撮影した写真を大型モニタに映し出して活用させる。</p> <p>◎発表に合わせて、児童の気付き（写真や文字）などを校庭マップに貼っていき、情報を共有する。その際、自分と他者の気付きや、夏の様子と比較させたり、今後の生活や四季の変化に関連付けさせたりできるような発問をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>夏とは違う自然の特徴や自分が見付けた秋の自然物のよさについて友達に伝えている。</p> <p style="text-align: right;">＜発言・発表(知識・技能)＞</p> </div>
<p>3 感想をワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋探しをまたやりたい。 ・拾ってきた葉や木の実で遊びたいな。 ・何かおもちゃが作れるかな。 ・秋って楽しい。 ・他の場所でも秋を見付けたい。 	<p>10分</p>	<p>○記録した写真やワークシートの「見付けたこと」「やってみたこと」や、校庭マップの「発表したこと」など活動全体を振り返るように促す。</p> <p>○夏と秋の違いや秋探しの楽しかったことなどを問い掛け、秋のよさに気付かせる。</p> <p>○家や休み時間など、今後の生活につながるような言葉掛けをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>友達が見付けたものや遊びを聞いて、もう一度自然と触れ合って楽しみたいという思いや、自分でももっと秋の自然物を使って遊びたいという思いを友達に話したり、ワークシートに書いたりしている。</p> <p style="text-align: right;">＜発言・記述(態度)〔記〕＞</p> </div>
<p>4 感想を発表して、振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくも落ち葉で貼り絵をしてみたい。 ・丸い形のどんぐりも見付けてみたい。 	<p>5分</p>	<p>○ワークシートに書いたことや思ったことについて発表させる。</p> <p>○児童の感想を板書し、みんなで共有する。</p> <p>○休み時間などに友達と見付けに行つてよいことや気付いたことは校庭マップに書き入れたり、先生に伝えに来たりしてほしいことを伝える。</p>

6 板書計画

○/○ たのしいあきいっぱい こうていであきをさがそう

めあて じぶんたちの ☆あきのスペシャル☆を つたえよう

校庭マップ



- ・はっぱのいろ みどり→きいろ
- ・くっつきむし とじている→ひらく
- ・どんぐり マラカスにした。



- ・おしろいばな はなやたねであそべる。
- ・かぜ あつい→すずしい



まとめ



- ・ひろってきたはや、みであそびたい。
- ・なにかおもちゃがつくれるかな。
- ・あきってたのしい。



- ・ほかのばしょでもあきをみつきたい。

指導計画 生活科 第1学年 単元名「たのしいあきいっぱい」
小単元名「こうていであきをさがそう」(全3時間計画)

目標	秋の自然と関わる活動を通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自然の様子や四季の変化、遊びの面白さや自然の不思議さに気付く。(知識及び技能) イ 身近な自然の違いや特徴を見付ける。(思考力、判断力、表現力等) ウ 身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとする。(学びに向かう力、人間性等)			
評価規準	(1) 秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いている。(知識・技能) (2) 秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けている。(思考・判断・表現) (3) 秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)			
過程	時間	○ねらい めあて	・振り返り(意識)	評価項目 〈方法(観点)〉
であう	1	○普段の生活で見付けた身近な秋の自然について話し合うことを通して、探すことへの意欲や自然を使った遊びへの期待をもつことができるようにする。 こうていで あきを さがそう	・どんな秋が見付けられるのかが楽しみ。 ・木の実を早く見付けに行きたい。 ・きれいな色の葉があるかな。 ・秋はどんな遊びができるのだろう。	・今までに秋の自然物と関わった経験や、日常生活の中で見付けた秋の変化について話している。〈発言(2)〉 ・楽しみたいという思いをもって、校庭で見付けたい秋ややってみみたい遊びについて話している。〈発言(3)〉
はたらきかける	1	○校庭で秋の自然と関わる活動を通して、「自分たちの秋のスペシャルを見付ける」という観点で、見付けたものややってみたことをタブレットで写真を撮ることができるようになる。 じぶんたちの ☆あきのスペシャル☆を みつけよう	・色の違うどんぐりを見付けたよ。 ・黄色や赤の落ち葉を見付けたよ。 ・落ち葉を使って貼り絵をして遊んだよ。 ・赤とんぼを5匹見付けたよ。 ・何だか分からない実が落ちていたよ。 ・センダングサで遊んだ。 ・虫の音が聞こえたよ。 ・私たちの班も同じ実を見付けたよ。 ・その種は、そんな場所にあったんだね。	・自分が見付けた葉や木の実の色や形、においなど、秋の自然物の特徴や、気温や光、空の色や雲など、秋の自然の様子や、やってみたことについて写真を撮ったり、友達や教師に話したりしている。〈観察・記述・発言(1) [記]〉 ・音やにおい、手触りなどの諸感覚を使って、秋の自然物を使うと、どんな遊びになりそうかを想像しながら、遊びに使う自然物を選んだり、夏の自然との違いを探したりしている。〈観察(2) [記]〉
ふりかえる	1	○写真に記録した気付きを手掛かりとして、互いの気付きを交流する活動を通して、気付きを比べたり、関連付けたりしながら、夏の様子との違いなど秋の季節のよさや特徴を共有し、新たな気付きを生むことができるようにする。 じぶんたちの ☆あきのスペシャル☆を つたえよう	・秋探しをまたやりたい。 ・拾ってきた葉や木の実で遊びたいな。 ・何かおもちゃが作れるかな。 ・秋って楽しい。 ・他の場所にも秋を見付けたい。	・夏とは違う自然の特徴や自分が見付けた秋の自然物のよさについて友達に伝えている。〈発言・発表(1)〉 ・友達が見付けたものや遊びを聞いて、もう一度自然と触れ合って楽しみたいという思いや、自分でももっと秋の自然物を使って遊びたいという思いを友達に話したり、ワークシートに書いたりしている。〈発言・記述(3) [記]〉